

資料 アンケート票・集計表

有機農産物の流通拡大に関するアンケート・質問票

本アンケートは「スーパーマーケット本社」、「スーパーマーケット店舗」「自然食品店・道の駅」の3対象に送付した。

それぞれアンケート票は異なるが、本報告書にはスーパーマーケット本社宛のものを掲載する。スーパーマーケット店舗宛とのアンケート票の違いは、スーパーマーケット本社宛は「問24」があるが、スーパーマーケット店舗宛には「問24」を入れていない。またスーパーマーケット本社宛の質問は、主語を「御社」としたが、スーパーマーケット店舗宛の質問は、「貴店」とした。

スーパーマーケット本社宛と自然食品店・道の駅宛のアンケート票の違いは「問24」である。問24の設問中に自然食品店・道の駅宛は、「店舗が2店舗以上ある方にお尋ねします。」と入れている。

アンケートの締切日は、送付時期によって異なる。

有機農産物の流通拡大に関するアンケート (スーパー本社宛)

本アンケートは、有機農産物の流通実態と
今後のご意向、ご要望・ご意見などをお伺いするアンケートです。

本アンケートでの「有機農業」とは、有機農業推進法における定義、つまり「化学的に合成された肥料及び農薬を使わない」生産方法を指しています。本アンケートでは、「有機農産物」とは、便宜的に次の二つを含むものといたします。特に断りのない場合「有機農産物」とは、両者を含めてご回答ください。

- ① 「有機 J A S 認証の農産物」(有機 J A S マーク付農産物)
- ② 「有機農業により生産された農産物」(以下「その他の有機農業による農産物」と表します。)

②は、「有機農産物」 J A S 規格とほぼ同等の生産方法をとっているが、有機 J A S 認証を取得していない農産物、及び「化学的に合成された肥料及び農薬を使わない」生産方法をとっている農産物のことです。

なお、有機 J A S 検査認証制度により、容器包装・ P O P で「有機農産物」と「表示」できる農産物は、①の「有機 J A S 認証の農産物」(有機 J A S マーク付農産物) だけであることを申し添えます。



認定機関名
有機 J A S マーク

※アンケートの内容構成は次のとおりです。

順番にお答えいただき、該当しないところは、「取扱いがない」「わからない」等にチェックをして、お進みください。

- I 問 1 ~ 6 有機農産物の生鮮野菜・生鮮果物・米の取扱い状況について
- II 問 7 ~ 15 有機農産物の「生鮮野菜」の売上げの傾向
- III 問 16 ~ 19 今後の取扱い意向
- IV 問 20 ~ 21 有機農業に関する行政への要望
- V 問 22 ~ 25 御社について

調査主体：特定非営利活動法人 日本有機農業研究会

〒 113-0033

東京都文京区本郷 3 丁目 17-12 水島マンション 501 号

調査事業担当者 小出 すま子

電話 03 (3818) 3078

F A X 03 (3818) 3417

E-mail info@joaa.net

I 有機農産物の生鮮野菜・生鮮果物・米の取扱い状況について (全員にお尋ねします)

問1 有機農産物の野菜・果物・米の取扱いについてお尋ねします。

御社では平成23年10月現在、「有機農産物」(「有機JAS認証農産物」、及び「その他の有機農業による農産物」)の取扱いがありますか。(○はひとつ)

- 1 有機農産物の取扱いがある 【→ 問2へお進みください】
- 2 有機農産物の取扱いがない 【→ 問15へお進みください】

《問1で「取扱いがある」と回答した方にお尋ねします》

問2 以下の区分について、御社で取扱いのあるものは何ですか。(該当箇所にも)

	野菜	果物	米
1 有機JAS認証農産物			
2 その他の有機農業による農産物※			

※「その他の有機農業による農産物」の定義については、表紙をご覧ください。

問3 御社では、これら有機農産物の野菜・果物・米について、どのような販売形態をとっていますか。(○はいくつでも)

〈有機の野菜について〉

- 1 店舗内で通常の棚に陳列しての販売
- 2 コーナー化しての販売
- 3 インショップ形式(テナント形式)での販売
- 4 不定期(イベント)販売
- 5 地場産品コーナーでの販売
- 6 その他 ()

〈有機の果物について〉

- 1 店舗内で通常の棚に陳列しての販売
- 2 コーナー化しての販売
- 3 インショップ形式(テナント形式)での販売
- 4 不定期(イベント)販売
- 5 地場産品コーナーでの販売
- 6 その他 ()

〈有機の米について〉

- 1 店舗内で通常の棚に陳列しての販売
- 2 コーナー化しての販売
- 3 インショップ形式(テナント形式)での販売
- 4 不定期(イベント)販売
- 5 地場産品コーナーでの販売
- 6 その他 ()

問4 過去1年間(平成22年11月~平成23年10月)に、御社で取扱い実績のあった有機農産物の品目について、該当する番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)
<有機の野菜の取扱いについて>

【果菜類】

- 1 オクラ 2 カボチャ 3 キュウリ 4 ブッキーニ 5 唐辛子
6 トマト 7 ナス 8 パプリカ 9 ピーマン 10 ミニトマト

【花菜類】

- 11 カリフラワー 12 ブロccoli

【葉菜類】

- 13 キャベツ 14 クレソン 15 小松菜 16 春菊 17 セロリ
18 ハクサイ 19 ハーブ 20 ベビーリーフ 21 ホウレンソウ
22 ミズナ 23 ミツバ 24 レタス

【茎菜類】

- 25 アスパラガス 26 タケノコ 27 タマネギ 28 ニラ 29 ニンニク
30 ネギ

【根菜類】

- 31 カブ 32 ゴボウ 33 ショウガ 34 ダイコン 35 ニンジン
36 ラッキョウ 37 レンコン

【芋類】

- 38 サツマイモ 39 サトイモ 40 ジャガイモ 41 ナガイモ

【豆類】

- 42 インゲンマメ 43 エダマメ 44 エンドウマメ 45 ソラマメ

【穀物類】

- 46 トウモロコシ

【菌糸類】

- 47 キノコ類

【その他】

- 48 その他 ()

<有機の果物の取扱いについて>

【果実的野菜】

- 1 イチゴ 2 スイカ 3 メロン

【果実】

- 4 アボカド 5 アンズ 6 イチジク 7 ウメ 8 カキ
9 キウイフルーツ 10 クリ 11 サクランボ 12 スモモ 13 ナシ
14 パイナップル 15 バナナ 16 パパイア 17 ビワ 18 ブドウ
19 ブルーベリー 20 マンゴー 21 モモ 22 ラフランス 23 リンゴ

【柑橘類】

- 24 甘夏 25 伊予柑 26 温州ミカン 27 オレンジ
28 清見 29 グレープフルーツ 30 ハッサク 31 レモン

【その他】

- 32 その他 ()

<有機の穀物の取扱いについて>

- 1 うるち米 2 もち米 3 その他雑穀 ()
4 その他 ()

問5 過去一年間（平成22年11月～平成23年10月）、または直近の決算期間における御社の全「野菜」の売上高に占める有機農産物（野菜）の割合はどの程度ですか。

（○はそれぞれひとつ）

	1%未満	1～2.9%	3～5.9%	6～9.9%	10～19.9%	20～29.9%	30%以上	わからない
1 有機JAS 認証農産物								
2 その他有機農 業による農産物								

問6 御社では、輸入産品（外国産有機農産物）を取り扱っていますか。

（○はそれぞれひとつ）

〈有機の外国産野菜について〉

- 1 取り扱っている→（具体的な品目名 _____）
- 2 取り扱っていない
- 3 わからない

〈有機の外国産果物について〉

- 1 取り扱っている→（具体的な品目名 _____）
- 2 取り扱っていない
- 3 わからない

〈有機の外国産米について〉

- 1 取り扱っている
- 2 取り扱っていない
- 3 わからない

Ⅱ 有機農産物の「生鮮野菜」の売上げの傾向 (問1で「1 有機農産物の取扱いがある」と回答した方にお尋ねします)

問7 御社における有機農産物の「野菜」の売上げは、5～6年前に比べて、現在どのような傾向ですか。 (○はそれぞれひとつ)

〈1 有機JAS認証農産物(有機JASマーク付農産物)〉

- 1 減っている
- 2 増減はなく同じ
- 3 やや増えている
- 4 かなり増えている
- 5 わからない
- 6 取扱いがない

〈2 その他の有機農業による農産物〉

- 1 減っている
- 2 増減はなく同じ
- 3 やや増えている
- 4 かなり増えている
- 5 わからない
- 6 取扱いがない

問8 御社が有機農産物の「野菜」を取り扱う理由は何ですか。 (○は3つまで)

- 1 消費者から要望があったから
- 2 より安全な食品を提供したいから
- 3 よりおいしい食品を提供したいから
- 4 他店との競争上の差別化を図るため
- 5 豊富な品揃えを確保するため
- 6 高い利益率が期待できるから
- 7 仕入れ先から要望があったから
- 8 環境への配慮といった企業の社会的責任の観点から
- 9 オーガニックブームだから
- 10 その他 ()

問9 御社では有機農産物の「野菜」についての情報提供を売り場で行っていますか。 (○はいくつでも)

- 1 「有機食品」に関するポスターを貼っている
- 2 「有機食品」や「有機JAS制度」のパンフレットを置いている
- 3 「有機JAS制度」の説明(ポップの掲示)を行っている
- 4 農産物の産地についての写真やポップなどの情報提供
- 5 生産者の写真や説明などの情報提供
- 6 具体的な生産方法(化学合成農薬を使わないなど)の情報提供
- 7 特に情報提供していない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問 10 有機農産物の仕入れ先についてお尋ねします。

(1) 御社の有機農産物の「野菜」の仕入れ先ルートは何ですか。

主要な仕入れ先ルート（金額ベース）上位3つに○を、最も主要なものに◎をつけてください。 (◎はひとつ、○は3つまで)

- 1 個別生産者
- 2 農家グループ（団体、農事法人を含む）
- 3 有機農産物専門流通業者
- 4 市場仲買人（仲卸業者）
- 5 輸入業者（商社を含む）
- 6 食品卸業者（商社を含む）
- 7 農業協同組合（県連・全農を含む）
- 8 自社農場
- 9 その他（)

(2) 今後、御社が最も増やしたい仕入れ先ルート（金額ベース）は何ですか。

また、その理由をご記入ください。 (○はひとつ)

- 1 個別生産者
- 2 農家グループ（団体、農事法人を含む）
- 3 有機農産物専門流通業者
- 4 市場仲買人（仲卸業者）
- 5 輸入業者（商社を含む）
- 6 食品卸業者（商社を含む）
- 7 農業協同組合（県連・全農を含む）
- 8 自社農場
- 9 その他（)

【その理由】

問 11 御社の有機農産物の「野菜」の最も主要な仕入れルートとの仕入れ形態はどのようなものですか。 (○はひとつ)

- 1 年間契約または、シーズン毎の契約
- 2 すべてその都度の買い付け
- 3 年間等の契約が多いが、その都度買い付けることもある
- 4 年間契約は少力で、その都度決めることがほとんどである
- 5 その他（)

問 12 御社が有機農産物の「野菜」を取り扱う際に、仕入れ・販売をする上での問題点や不満は何かありますか。 (○は3つ)

- 1 品目の種類を安定して揃えることができない
- 2 品目毎の数量を安定して確保できない
- 3 欠品があった時の対応がむずかしい
- 4 一般の野菜と比較して仕入れ価格が高い
- 5 仕入れようと思っても、数量（ロット）が確保できない
- 6 有機であることの栽培状況の確認ができない
- 7 有機JASの小分け認証を取得していないため、袋の開封・移し替え等ができない
- 8 有機農産物なので、他の農産物と明瞭な区分が必要なので手間がかかる
- 9 有機農産物についての情報提供が必要である
- 10 売れ残りが多い（消費者のニーズが少ない）
- 11 社員の有機農産物・有機JASに対する知識が少ない
- 12 特に問題点や不満はない
- 13 わからない
- 14 その他（)

問 13 御社が有機農産物の「野菜」の仕入れ先を決定する際の優先事項は何ですか。 (○はひとつ)

- 1 安定的な供給ができる
- 2 数量（ロット）の確保ができる
- 3 有機農産物として適当と考えられる仕入れ価格である
- 4 一般の野菜と同等の仕入れ価格である
- 5 栽培履歴の確認ができる
- 6 既存の取引先であること
- 7 その他（)

問 14 御社の有機農産物の販売価格（店頭小売価格）について、一般の「野菜」と比較して平均でどの程度の価格差で販売しているものが多いですか。 (○はひとつ)

- 1 1割高
- 2 2～3割高
- 3 5割高
- 4 2倍以上
- 5 一般の野菜と同等価格
- 6 わからない
- 7 その他（)

【→問 16 へお進みください】

問15 問1で「2 有機農産物の取扱いがない」と回答した方にお尋ねします。

御社で有機農産物の「野菜」の取扱いをしない理由は何ですか。 (○は3つ)

- 1 仕入れ価格が一般野菜と比べて高いから
- 2 仕入れ価格が有機農産物として適当な価格ではないから
- 3 仕入れ量が安定しないから
- 4 数量（ロット）が揃わないから
- 5 欠品があった時の対応がむずかしいから
- 6 品質が安定しないから
- 7 有機JASの小分け認証を取得していないため、袋の開封・移し替え等ができないから
- 8 有機農産物なので、他の農産物と明瞭な区分が必要なので手間がかかるから
- 9 有機農産物についての情報提供が必要だから
- 10 売れ残りが多いため（消費者のニーズが少ないから）
- 11 品目の品揃えがむずかしいから
- 12 周年品揃えができないから
- 13 社員の有機農産物・有機JASに対する知識が少ないから
- 14 特に問題点や不満はない
- 15 わからない
- 16 その他（)

【→問16へお進みください】

Ⅲ 今後の取扱い意向（全員にお尋ねします）

問 16 あなたは、小売業者が今後、「有機農産物」の取扱いや販売を増やすためにどのようなことが必要だと思いますか。（○はひとつ）

- 1 有機農産物の生産量を増やす
- 2 有機農産物の安定供給体制を整備する
- 3 有機農産物の生産者情報を公表する
- 4 行政等が消費者対象の有機農業の普及啓発活動を行う
- 5 行政等が小売業者対象の有機農業の普及啓発活動を行う
- 6 その他（)

問 17 あなたは、有機の「野菜」の販売価格について、一般の「野菜」と比較して、どの程度の価格差であれば日常的な取扱いが可能だと思いますか。（○はひとつ）

- 1 1割高
- 2 2～3割高
- 3 5割高
- 4 2倍以上
- 5 一般の野菜と同等価格
- 6 わからない
- 7 その他（)

問 18 御社では、今後の「有機農産物」の取扱いについてどのような意向をお持ちですか。（○はひとつ）

- | | | |
|---|---|------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1 取扱い部門・品目を増やしたい2 取扱い金額を増やしたい3 現状維持で取り扱う | } | 【→問 19 へお進みください】 |
| <ol style="list-style-type: none">4 取扱い部門・品目を減らしたい5 取扱い金額を減らしたい6 今後も取り扱わない7 わからない8 その他（) | } | 【→問 20 へお進みください】 |

問 19 問 18 で「1 取扱い部門・品目を増やしたい」「2 取扱い金額を増やしたい」「3 現状維持」と回答した方にお尋ねします。

日本の有機農業は、比較的小規模な有機農家が少量多品目の野菜を栽培し、産直提携や小規模直売所での販売で発展してきた経緯があります。

(1) 御社では、地元の小規模有機農家の「有機農産物」販売に対し、今後どのような対応ができるとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。すでに実施している対応については該当する番号に◎をつけてください。(◎・○はいくつでも)

- 1 店舗構内（店舗外）の場所の提供・設置
- 2 店舗内での不定期の有機農産物コーナー等の提供・設置
- 3 店舗内での常設の有機農産物コーナー等の提供・設置
- 4 有機 J A S 認証の農産物以外は、取り扱わない
- 5 支援はできない
- 6 わからない
- 7 その他（)

(2) 御社では、有機農産物を販売する際に「無選別」（大小ふぞろい）に対して、どのような対応ができるとお考えですか。該当する番号すべてに○をつけてください。すでに実施している対応については、該当する番号すべてに◎をつけてください。(◎・○はいくつでも)

- 1 袋詰をし、計量による価格付けを行えば選別品と同等の価格で販売できる
- 2 無選別のものは、選別品より低価格でないと販売しにくい
- 3 単体で価格をつける農産物（カボチャなど）は、選別品と同等の価格で販売できる
- 4 計量による価格付けは、手間がかかるので難しい
- 5 「有機 J A S」の表示があれば、選別品と同等の価格で販売できる
- 6 わからない
- 7 その他（)

IV 有機に関する行政への要望（全員にお尋ねします）

問 20 御社が、「有機農産物」を取り扱う上で行政や生産者等に対して求めることは、どのようなことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 有機農産物の説明パンフレットの作成・配布
- 2 有機農業などを知らせるパネルやポスターの作成・配布
- 3 有機農業や有機農産物を知らせるノボリなどの宣伝ツールの作成・配布
- 4 有機農業の普及啓発 DVD 等の作成・配布
- 5 流通事業者などを対象とした研修会の開催
- 6 農村地域での農業者を対象とした有機農業講座・短期間の学校などの開催
- 7 新規就農者を対象とした有機農業講座・短期間の学校などの開催
- 8 消費者向けの有機農業を普及するための研修会の開催
- 9 有機農産物を使った料理教室などの開催（または場の提供）
- 10 生産者・消費者の交流会の開催、またはその支援
- 11 有機農家などの見学会の実施
- 12 「有機農産物の日」などの設定によるキャンペーンの促進
- 13 有機農産物の取扱いに関する行政の窓口対応の増加
- 14 小規模有機農家に対する集荷や共同出荷に対する支援
- 15 その他（)

問 21 有機農産物や有機農業についてのご要望・ご意見などをご自由にご記入ください。

V 御社について（全員にお尋ねします）

問 22 御社の目指しているビジネス・商売の考え方について、お答えください。

(○は3つ)

- 1 おいしいものを提供したい
- 2 生産方法や品質にこだわりのあるものを提供したい
- 3 生産者とのパートナーシップを大切にしたい
- 4 できるだけ安い価格で提供したい
- 5 良いものを適正な価格で提供したい
- 6 高級品を中心に提供したい
- 7 生活全般に役立ちたい
- 8 消費者の声・要望を大切にしたい
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問 23 御社の本社の所在地についてお答えください。

(○はひとつ)

- 1 北海道
- 2 東北
- 3 関東
- 4 東海・北陸
- 5 近畿
- 6 山陽・山陰
- 7 四国
- 8 九州・沖縄

問 24 御社の店舗が存在する都道府県数についてお答えください。

(○はひとつ)

- 1 1つ
- 2 2～3つ
- 3 4～5つ
- 4 6～10つ
- 5 11～15つ
- 6 16～20つ
- 7 21つ以上

問 25 御社のお名前・ご住所をご記入ください（回答内容などに関するお問い合わせのためであり、公表はいたしません。なお本アンケート結果をまとめた報告書をお送りさせていただきます）。

【住所】

(〒)

【御社名】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
回答は返信用封筒に入れ、11月14日までに投函してください。